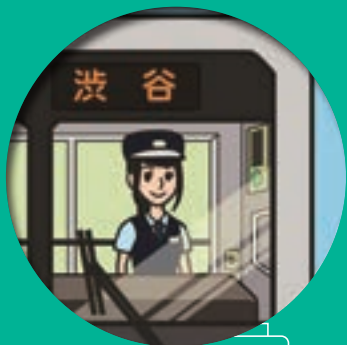


第146期

ビジネスレポート

2014年4月1日から2015年3月31日まで

美しい時代へ
東急グループ



05 特集
ページ

ニ子玉川ライズ・ショッピングセンター・ テラスマーケット開業!!

ごあいさつ.....	01	東急線・みなとみらい線 路線案内....	09
新中期経営計画の位置づけ.....	02	連結決算ハイライト	11
新中期 3 年経営計画.....	03	株主優待のご案内.....	13
TOKYU ニュースエクスプレス... 07		会社・株式情報.....	14



東京急行電鉄株式会社

(証券コード:9005)

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2012年4月より中期3か年経営計画「～創る、繋ぐ、拓く～」(以下、「前経営計画」といいます。)を推進してまいりましたが、今年3月をもちまして前経営計画期間は終了いたしました。

期間中この計画に基づき、鉄道事業においては2013年3月に東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転を開始し、不動産事業においては2012年4月に渋谷ヒカリエを開業しております。生活サービス事業においては、2012年6月に新業態ホーム・コンビニエンスサービス「東急ベル」を開始したほか、渋谷駅周辺再開発の進捗に伴い2013年4月に東急百貨店東横店をリニューアルオープンいたしました。また、海外での街づくり事業については、ベトナム・ビンズン省においてタワーマンションの開発や路線バスの開設・運行などに取り組んでおります。

こうした重点施策の推進の結果、鉄軌道事業における輸送人員は過去最高を記録し、今年4月には二子玉川ライズ・ショッピングセンター・テラスマーケットを開業しております。また、前経営計画に定めた東急EBITDA、営業利益、D/Eレシオの数値目標はいずれも達成いたしました。これもひとえに株主の皆さまのご支援のおかげと感謝申し上げます。

さて、当社はこの度、2015年度を初年度とする中期3か年経営計画「STEP TO THE NEXT STAGE」(以下、「新経営計画」といいます。)を策定し、公表いたしました。

新経営計画では、私が社長就任時に掲げた前経営計画の経営ビジョンを踏襲し、それを実現するための長期経営戦略として、

「沿線のバリューアップ」「お客さまを軸とした東急シェアの拡大」「沿線外展開・新規事業展開」の3つを掲げております。

本計画の基本方針を「次なる飛躍へのステップとして、沿線を深耕するとともに、新たな成長にチャレンジする」とし、既存のプロジェクトを着実に進めると同時に、新規領域に積極的に進出し、成長分野に重点投資すると決めました。

具体的な4つの重点施策について、次ページ以降でご紹介しておりますので、ご参照くださいますようお願い申し上げます。

来たる2020年には世界規模のイベントである東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2022年には当社は創立100周年を迎えます。これらに先立ち、当社は東急グループの本拠地である渋谷で大規模再開発を進め、2018年度には渋谷駅南街区、2019年度には渋谷駅街区・東棟が開業・竣工する予定です。新経営計画はこれらの大規模再開発を着実に進捗させ、当社の未来、渋谷の未来、ひいては日本の未来を決定づける期間に他なりません。そのために社員一丸となって全力で取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2015年6月



取締役社長 野本 弘文

新中期経営計画の位置づけ

鉄道ネットワークの整備

- 2013年3月 東横線-東京メトロ副都心線の相互直通運転開始
- 2014年3月 東急線の年間輸送人員が11億人を突破

鉄道安全対策の継続

- 2012-2014年度累計で547億円の安全投資を実施

渋谷、二子玉川などの沿線開発の推進

- 2012年4月 渋谷ヒカリエ開業
- 2013年4月 武蔵小杉東急スクエア開業
- 2013年10月 あざみ野ガーデンズ開業

本計画期間は、渋谷駅周辺の大規模施設や、相鉄・東急直通線開業などの大規模プロジェクト完成までの「STEP期間」であり、将来の大きなジャンプに向けて、既存プロジェクトを着実に進めると同時に、新規領域に積極的に進出し、成長分野に重点投資する大切な3か年と位置づけています。また、リテール事業の再構築や、ライフスタイルやワークスタイルのイノベーションなど、新しい取り組みを進めます。こうした意図から、計画名称を「STEP TO THE NEXT STAGE」としました。

- 2015年度 ログロード代官山開業
二子玉川再開発第2期事業開業
- 2017年度 渋谷宮下町計画開業

- 2018年度 渋谷駅南街区開業
- 2019年度 相鉄・東急直通線開業
渋谷駅街区・東棟開業
- 2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催
- 2022年 当社創立100周年
- 2027年度 渋谷駅街区 全体開業

HOP!

前中期経営計画 2012~2014
～^{つく}創る、^{つな}繋ぐ、^{ひろ}拓く～

地域の生活価値を創造し続ける事業展開

STEP!

新中期経営計画 2015~2017
“STEP TO THE NEXT STAGE”

次なる飛躍へのステップとして、
沿線を深耕するとともに、新たな成長にチャレンジする

JUMP!

長期ビジョン

2022年にありたい姿

数値計画の推移 ()内は計画値

	2012年度実績	2013年度実績	2014年度実績
営業利益 (億円)	557 (500)	621 (550)	715 (700)
東急EBITDA (億円)	1,496 (1,409)	1,488 (1,440)	1,515 (1,547)
D/Eレシオ	2.1倍 (2.3倍)	1.9倍 (2.4倍)	1.7倍 (2.2倍)



	2017年度計画
営業利益 (億円)	750
東急EBITDA (億円)	1,690
有利子負債/東急EBITDA倍率	5.8倍



	2022年度目標指標
営業利益 (億円)	1,000
東急EBITDA (億円)	2,000
有利子負債/東急EBITDA倍率	5倍台

用語解説

東急EBITDAとは、営業利益+減価償却費+のれん償却額+固定資産除却費+受取利息配当+持分法投資損益を合計したもので、営業活動で得られるキャッシュの絶対額を示しています。
(なお、前中期経営計画期間においては、営業利益+減価償却費+のれん償却費+固定資産償却費の合計で算出していました。)
D/Eレシオとは、期末連結有利子負債を期末連結自己資本で除したもので、一般的に企業の安全性をはかる指標とされています。



重点施策①

安心感と満足感のより一層の充実

さらに安心で安全な鉄道の追求

- 少子化・高齢化等の社会環境変化を見据えたホームや踏切における安全対策の実施
- 大規模地震や自然災害の影響拡大に備えた安全対策の深化



ホームドア整備



避難誘導訓練

移動を軸とした暮らしを豊かにするサービスの展開

- 交通利便性を高め、あわせて駅機能向上を図り、広域の人の移動を促進
- 交通、リテール、生活サービスを一体的に展開した新たな価値を提供して街・地域を活性化

ネットワークの充実



横濱中華街 旅グルメきっぷ



トライアングルチケット

重点施策②

沿線開発と不動産事業の更なる推進

「日本一訪れたい街 渋谷」を目指して
エンタテインメントシティ
SHIBUYA

渋谷再開発の推進

ハード面では「渋谷宮下町計画」「渋谷駅南街区計画」「渋谷駅街区・東棟」を推進し、ソフト面では「エンタテインメントシティSHIBUYA」を具現化する

沿線駅周辺における総合開発の推進

沿線資産活用コンサルティング事業の強化

不動産賃貸事業の更なる拡充



重点施策③

ライフスタイル&ワークスタイル・イノベーションの推進

ライフスタイル・イノベーション

グループで運営するCATV事業やセキュリティ事業などに電力小売事業を加えた「家ナカ」サービスを便利に、お得に利用できるよう組み合わせで展開



スマートホーム



東急ベル



電力小売り

家ナカ
サービス
バンドル化



ワークスタイル・イノベーション

- 多様なワークスタイルへの対応をサポート
- 社員がいきいきと輝ける環境づくり



セキュリティ・駆けつけサービス



高齢者見守りサービス

重点施策④

グループ経営資源を活かした 新たな取り組み

■ リテール事業の推進体制強化

- 強力なヘッドクォーター機能を持つ「リテール事業部」を設置。グループ各社の強みやリソースを連携させ、リテール事業の競争力を向上

■ インバウンドへの取り組み

- 渋谷へのインバウンド誘客強化
- 沿線地域への誘致、受入れ体制充実

■ ホテル事業の取り組み

- 3つのブランドに再編
- 大都市や観光拠点での出店を推進

■ 海外展開

- 国内外の事業から培ったノウハウを活用し、東南アジアでの経済成長力の取り込みと現地パートナーとの連携などによる事業推進・事業機会の拡大



ベトナム・ビンズン都市開発

インバウンド への取り組み

札幌エリア

長野・北陸
エリア

伊豆エリア

福岡エリア

大阪・京都
エリア

海外展開

中国

香港

タイ

ベトナム

オーストラリア

長期ビジョン

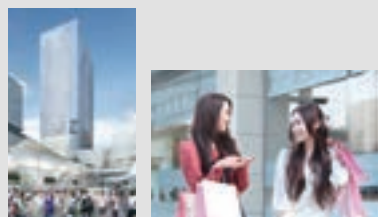
(2022年にありたい姿)

「選ばれる沿線」実現のため「3つの日本一」を目指し、「ひとつの東急」実現のため、東急グループ全体での連携強化とグループワイドな展開を目指します。

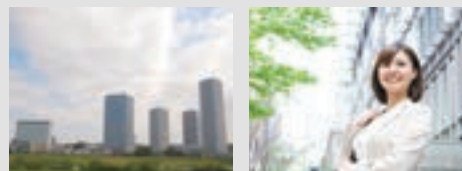
東急沿線が 『選ばれる沿線』であり続ける



日本一住みたい沿線「東急沿線」



日本一訪れたい街「渋谷」



日本一働きたい街「二子玉川」

『ひとつの東急』として、
強い企業集団を形成する

株主還元の方針について

当社は、株主の皆さまへの適切な利益還元を経営上の重要政策と位置づけ、本経営計画では、連結自己資本配当率2%を目処におき、安定・継続的な配当を実施することとしております。この方針に基づき、当期の期末配当につきましては、1株につき4円とし、年間配当は、8円といたしました。なお、来期(2016年3月期)の年間配当につきましては、前期比で50銭増配し、1株につき8円50銭を予定しております。

1株当たり配当金の推移については
11ページをご覧ください。

自己株式の取得について

資本効率の向上および機動的な資本政策の遂行を図るために、自己株式の取得を行います。

- 取得する株式の種類
当社普通株式
- 取得する株式の総数
1,500万株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.20%)
- 株式の取得価額の総額
100億円(上限)
- 取得期間
2015年5月14日から
2015年8月14日まで

二子玉川ライズ・ ショッピングセンター・ テラスマーケット開業!!

当社および東急不動産株式会社が組合員および参加組合員として参画している「二子玉川東第二地区第一種市街地再開発事業」(以下、二子玉川ライズ第2期事業)における商業施設「二子玉川ライズ・ショッピングセンター・テラスマーケット」が、本年4月に開業いたしました。

二子玉川ライズ第2期事業は、二子玉川駅から世田谷区が整備している二子玉川公園までつながる歩行者専用通路(リボンストリート)沿いに、オープンモール型の商業施設、シネマコンプレックス、フィットネスクラブ、ホテル、スタジオホール、オフィスを配し、各建物間および屋上には、中央広場、噴水広場、多摩川の生態系を学べるビオトープを有する約6,000㎡のルーフガーデンなど多彩な広場空間を設け、施設全体で豊かな自然を感じられる空間を提供します。

二子玉川ライズ第2期事業の商業施設「二子玉川ライズ・ショッピ



ングセンター・テラスマーケット」内には、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が手がける新業態で、物販、飲食、サービスを織り交ぜた「蔦屋家電」が出店。その他、日本初出店となるスペイン・マドリード発祥の老舗デリカ・カフェ&バール業態「Mallorca(マヨルカ)」など、全18店舗が出店しました。



開業セレモニーの様子



開業後のリボンストリート

開業セレモニーにて、当社取締役社長野本弘文は「地域の皆さま、行政の皆さまにご理解とご指導を頂戴しながら、施設運営に全力を挙げて取り組んでまいります。二子玉川の新しい魅力を存分にお楽しみください。」とごあいさつしました。

この二子玉川ライズ第2期事業と、二子玉川公園の完成により、既に開業している二子玉川ライズ第1期事業から多摩川河川敷までの回遊性が確保され、二子玉川ライズ全体の開発コンセプトである「都市から自然へ」の流れが実現します。

1

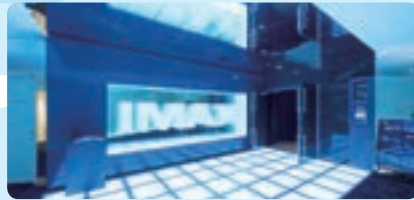
映画館

109シネマズ二子玉川

出店者 ▶ 株式会社東急レクリエーション

施設概要 ▶ 10スクリーン1,665席

上質な映像空間とエンターテインメントを全国18館で提供する109シネマズが贈る、世田谷区初のシネマコンプレックス。ファーストクラスの映像体験をお届けします。



2

フィットネス

アトリオドゥーエ二子玉川

出店者 ▶ 東急スポーツシステム株式会社

施設概要 ▶ 総合型フィットネスクラブ(マシジム、スタジオ、スイミングプール、ウォーキングプール、ジャグジー、温浴施設(バス、シャワー、サウナなど))。

エリア最大級のマシジムと25mの本格的プールを完備した総合型フィットネスクラブ。



3

スタジオ・ホール

iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ

出店者 ▶ イッツ・コミュニケーションズ株式会社

施設概要 ▶ 地域や企業が利用しやすく、街と一体となったイベントを行える「多目的ホール」。イッツコムならではの放送・映像化機能、インターネット配信機能を持った「放送スタジオ」。



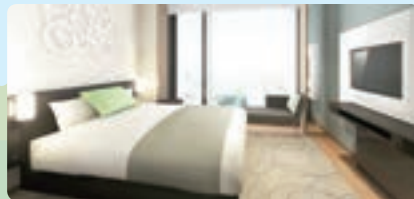
4

ホテル

二子玉川エクセルホテル東急 (2015年7月17日開業予定)

出店者 ▶ 株式会社東急ホテルズ

施設概要 ▶ 富士山や多摩川などの豊かな自然が織り成す美しいロケーションを見渡すことができる、地上28階から30階の高層フロアに位置するホテル。2015年7月17日に開業を予定しています。



二子玉川

豆知識



行楽地から商業地へ

多摩川の河川敷や近隣の砦公園、等々力渓谷など、都会では貴重な自然が残るこの二子玉川エリアには、時代の変遷に合わせ、玉川遊園地や玉川プール、テニスコートが配されるなど、人々の行楽地として親しまれてきました。その後大型ショッピングセンターの開業により、行楽地から商業地へと、時代に先駆けてその姿を変えてきました。



玉川遊園地



二子東急テニスクラブ

自然環境と調和した街づくり

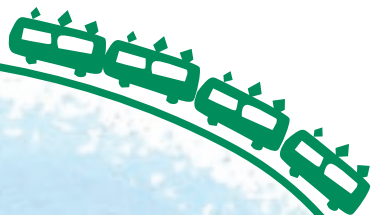
二子玉川ライズは、2014年9月に「LEEDまちづくり部門」において日本初のゴールド予備認証を取得しました。LEEDとは、米国グリーンビルディング協会が所管する環境性能評価指標のことであり、エネルギー効率に優れ、持続可能な建築物を普及することを目的としています。元来多摩川や国分寺崖線に近接する自然豊かな環境に恵まれていることに加え、生物多様性を評価する「JHEP認証」で最高ランクAAAを取得するなど生態系の保全への取り組みなどにより評価を受けました。



「憩い」をテーマに設計された「原っぱ広場」

NEWS 二子玉川にて株主さま向けのイベントを実施いたします。詳しくは裏表紙をご覧ください。

TOKYU ニュースエクスプレス



ベトナム・ビンズン省で 路線バス事業を開業

当社はベトナムのビンズン省において現地デベロッパーと合併会社「ベカメックス東急」を設立し街づくり事業に取り組んでいますが、そのベカメックス東急の100%子会社であるベカメックス東急バスは、当社が蓄積してきた「東急多摩田園都市」における交通インフラを含む街づくりのノウハウを活用し、路線バス「KAZE SHUTTLE（カゼ シャトル）」を本格開業しました。「KAZE SHUTTLE」は、バス停に掲出した時刻表に基づく定時運行や、安全・快適な車両の導入、お客さまへの丁寧な接客案内など、日本のノウハウを活用した新たな交通システムの整備を図ります。



「KAZE SHUTTLE」バス停



「LOG ROAD DAIKANYAMA」第1弾オープン

東横線地下化により創出されたトンネル上部の旧線路跡地に「LOG ROAD DAIKANYAMA(ログロード代官山)」が2015年4月17日(金)に第1弾オープンしました。

「LOG ROAD DAIKANYAMA」は、かつて東横線が走っていた全長220mの線路跡地に、散策路、5棟の商業店舗を配した、四季折々の花と緑を楽しめる、都心にありながら気持ちの良い空気を感じられる新しい形の商業空間です。第1弾として、クラフトビールを提供するキリンビールの新業態「SPRING VALLEY BREWERY TOKYO(スプリングバレーブルワリー東京)」、ライフスタイル複合セレクトショップ「Fred Segal(フレッド・シーガル)」(日本初上陸)がオープンしました。



LOG ROAD DAIKANYAMA



たまプラーザ テラス 大型リニューアル

田園都市線たまプラーザ駅に直結する大型商業施設「たまプラーザ テラス」は、2014年4月から12月の累計で過去最高のテナント売上高を達成しました。またさらなる施設の魅力向上を目指し、2015年3月6日(金)より、順次ニューショップ16店舗、リニューアルショップ14店舗の合計30店舗をオープンします。今回のリニューアルは総テナント数の約20%にあたり、2010年10月のグランドオープン以来最大規模になります。



東証のテーマ銘柄である「なでしこ銘柄」に 3年連続選定、「健康経営銘柄」に初選定

当社は、2015年3月、経済産業省が東京証券取引所と共同で女性活躍推進に優れた企業を選定する「なでしこ銘柄」、および「健康経営」に優れた企業を選定する「健康経営銘柄」に選定されました。当社は、女性活躍推進を重要な経営課題と捉えていることや、「スライド勤務」をはじめとした柔軟な勤務時間などが評価されたほか、高い有給休暇取得率の実績を加味され、2012年度と2013年度に引き続き、3年連続で「なでしこ銘柄」に選定されました。3年連続となる今回の「なでしこ銘柄」選定を受け、当社は、今後もさまざまな施策により、女性はもちろん、多様な人材が活躍できるダイバーシティマネジメントを積極的に推進します。



2014年度「ダイバーシティ経営企業100選表彰式・なでしこ銘柄発表会シンポジウム」

担当者インタビュー



人事開発部
ダイバーシティ・
キャリア開発課
尾上さん

会社が持続的に発展していくためには、年齢、性別、国籍、身体の状態など、背景の異なる社員一人ひとりが多種多様な視点を持ち寄り、その力を最大限に発揮し、組織として最大価値を創出する、多様性を活かす組織づくりが必須だと考えます。ダイバーシティ・キャリア開発課およびダイバーシティ推進ワーキンググループでは、「東急グループ女性管理職フォーラム」の実施や「在宅勤務」「休日の事業所内保育サービス」などを導入し、女性を含むさまざまな社員が働き続けるための環境整備を積極的に進めています。



ホテルブランドを再編し、 「東急REIホテル」ブランドを新設

当社子会社の株式会社東急ホテルズは、44店舗12,051室(2015年3月末時点)を有するホテルチェーンとして「東急ホテル」「エクセルホテル東急」「東急イン」「東急リゾート」「ホテル東急ビズフォート」の5つのホテルブランドを全国各都市に展開し、お客さまよりご愛顧をいただけてきました。この度、ブランドを「東急ホテル」「エクセルホテル東急」および新設する「東急REIホテル」の3つに再編成しました。東急ホテルズのブランドをよりわかりやすくお客さまにお伝えし、今後とも末永く愛されるホテルを目指します。



路線案内



池上線 五反田 ほか

JTB総合提携店 「東急トラベルサロン」へリニューアル

旅行業における商品企画のノウハウを持つJTBとの提携を強化し、「東急旅行センターテコプラザ」は、「東急トラベルサロン」にリニューアルしました。

1

田園都市線 市が尾

市が尾駅直結商業施設 「エトモ市が尾」オープン

子育てをサポートする保育園を設置し、仕事帰りに立ち寄れる飲食店、生活雑貨を揃えることで、地域密着型の商業施設を目指します。

2

大井町線 中延 ほか

東急の自立支援型デイサービス 「オハナ」続々オープン

2014年5月に「オハナ中延」、2015年4月に「オハナ菊名」を開業するとともに、2015年7月には「オハナ元住吉」の開業を予定しています。

3

東横線 武蔵小杉 ほか

代官山・武蔵小杉・横浜駅に ホームドアを設置

ホーム上の安全対策として2014年度は、代官山・武蔵小杉・横浜駅でホームドアを設置しました。今後2020年を目標に東横線・田園都市線・大井町線の全64駅にホームドアを設置します。

4

東横線 渋谷

外国人旅行者向けの お土産ショップオープン

訪日外国人旅行者対応の一環として、渋谷ならではの日本ならではのお土産好適品を集めた「シブヤスーベニアショップ」を東急百貨店東横店2階にオープンしました。

5

PICK UP 沿線探訪



当時の
日吉の様子
(慶應義塾大学)





東急電鉄発祥の地 記念碑

東横線 日吉-東急電鉄発祥の地


当社の前身の一つである東京横浜電鉄が鉄道建設の着手にあたり、日吉から新丸子にいたる水田を埋め立てるための土取場として、日吉の土地をまず初めに取得しました。その後の発展を記念し、昭和31年(1956年)に東急電鉄の発祥の地として、記念碑を建立したのがこの日吉でした。(現在この記念碑は、川崎市中原区木月に移設しております。)


決算のポイント

- 

営業収益は、不動産事業において、前年度の大型集合住宅(マンション)販売の反動減などにより、1兆670億円(前期比1.5%減)。営業利益は、交通事業や不動産事業における経費の削減などにより、715億円(前期比15.0%増)。
- 

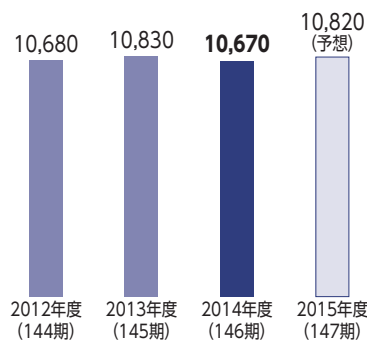
経常利益は、負ののれん償却額の計上が前年度に終了したことなどにより、666億円(前期比6.4%増)、当期純利益は、前年度に計上した東急不動産グループの再編に伴う持分変動利益や固定資産売却益の反動減などにより、410億円(前期比27.3%減)。

- 

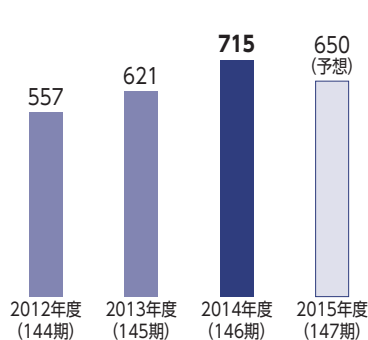
総資産は、現金及び預金や、繰延税金資産が減少したことなどにより、2兆25億円(前期末比192億円減)。
- 

純資産は、自己株式の取得及び消却による資本剰余金の減少や、退職給付会計基準等の適用による利益剰余金の減少などがあったものの、当期純利益の計上などにより、5,795億円(前期末比418億円増)。

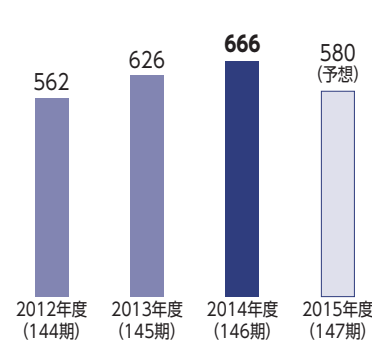
営業収益(単位:億円)



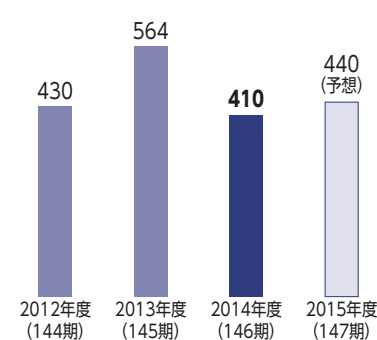
営業利益(単位:億円)



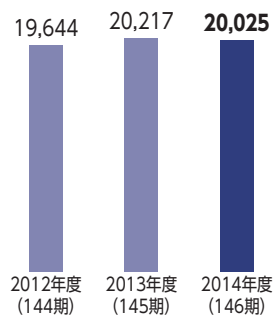
経常利益(単位:億円)



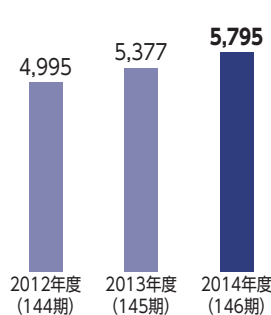
当期純利益(単位:億円)



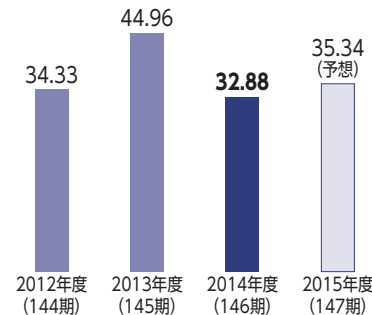
総資産(単位:億円)



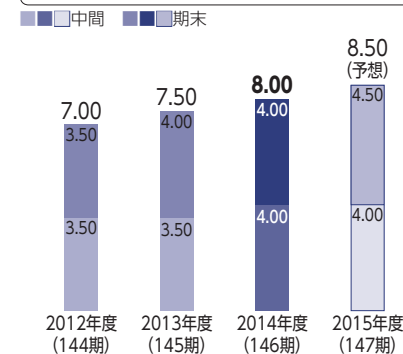
純資産(単位:億円)



1株当たり当期純利益(単位:円)



1株当たり配当金(単位:円)



セグメント情報



交通事業

主な会社: 東京急行電鉄(株)、伊豆急行(株)、
上田電鉄(株)、東急バス(株)、(株)じょうてつ

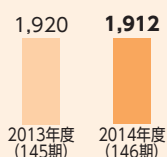
営業収益

1,912億円 前期比 0.4%減

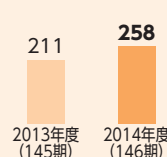
営業利益

258億円 前期比 22.0%増

営業収益(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



鉄軌道業において、消費税増税に伴う前倒し購入の反動減や、広告収入の減少などにより、営業収益は前期比で減少。経費等の減少などにより、営業利益は前期比で増加。



不動産事業

主な会社: 東京急行電鉄(株)、
東急ファシリティサービス(株)、(株)東急モルズデベロップメント

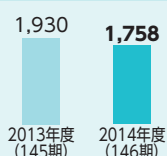
営業収益

1,758億円 前期比 8.9%減

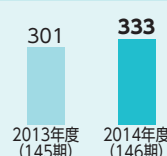
営業利益

333億円 前期比 10.7%増

営業収益(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



前年度の大型集合住宅(マンション)販売の反動減などにより、営業収益は前期比で減少。販売原価・広告宣伝費などの減少や、費用の減少などにより、営業利益は前期比で増加。



生活サービス事業

主な会社: (株)東急百貨店、(株)ながの東急百貨店、(株)東急ストア、
イツ・コミュニケーションズ(株)、東急カード(株)、
東急セキュリティ(株)、(株)キッズベースキャンプ

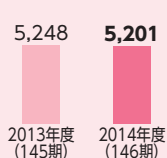
営業収益

5,201億円 前期比 0.9%減

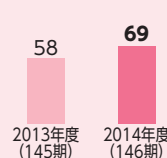
営業利益

69億円 前期比 19.0%増

営業収益(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



(株)東急百貨店において、前年度に東横店を一部閉館し、売場を縮小したことなどにより、営業収益は前期比で減少。(株)東急ストアにおいて、閉鎖店舗による費用の減少などにより営業利益は前期比で増加。



ホテル・リゾート事業

主な会社: (株)東急ホテルズ、マウン ラニ リゾート
(オペレーション),INC.、(株)スリーハンドレッドクラブ

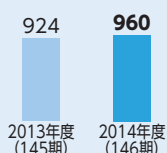
営業収益

960億円 前期比 3.9%増

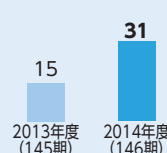
営業利益

31億円 前期比 110.7%増

営業収益(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



(株)東急ホテルズにおいて、客室の稼働率とともに販売単価も増加したことなどにより、営業収益、営業利益ともに前期比で増加。



ビジネスサポート事業

主な会社: (株)東急エージェンシー、
東急ジオックス(株)、東急テクノシステム(株)

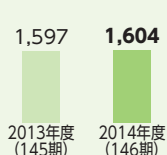
営業収益

1,604億円 前期比 0.4%増

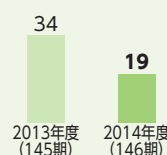
営業利益

19億円 前期比 43.3%減

営業収益(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



商社業の東急ジオックス(株)における、建設資材の販売強化などにより、営業収益は前期比で増加。(株)東急エージェンシーにおける前年度受注したイベントの反動減などにより、営業利益は前期比で減少。

株主優待のご案内

NEW

ご優待内容・発送時期が一部変更になりました。

1,000株以上ご所有の株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線全線または東急バス各路線にご乗車いただける**株主優待乗車証**や、東急グループ各施設でお買い物・ご宿泊等にご利用いただける**株主ご優待券**をお送りしております。

株主ご優待券

- 東急百貨店** (注1)
お買い物 10%割引券 10枚
- 東急ストア** (注2)
お買い物 50円割引券 40枚
- 東急ホテルズ**
客室正規料金 30%割引券 8枚
NEW ご飲食代 10%割引券 4枚
- NEW 東急病院**
人間ドック基本料金 10%割引券 1枚
- Bunkamura ザ・ミュージアム**
五島美術館
共通ご招待券 4枚

株主優待乗車証

ご所有期間	1年以上3年未満	3年以上
ご所有株式数	株主優待乗車証発行枚数	
1,000株以上 3,000株未満	電車・東急バス 全線きっぷ (注3) 5枚	
3,000株以上 5,000株未満	10枚	さらに 継続保有 すると 電車・東急バス 全線きっぷ 5枚追加
5,000株以上 10,000株未満	20枚	
10,000株以上 19,000株未満	40枚	
19,000株以上 24,000株未満	80枚	電車・東急バス 全線きっぷ 10枚追加
24,000株以上 28,000株未満	10枚	
28,000株以上 57,000株未満	30枚	
57,000株以上	30枚	電車・東急バス 全線バス 1枚

(注1) 現金による合計金額3,000円(税別)以上の同一売場でのお買い物1回につき、本体価格の10%(100円未満四捨五入)を割引いたします(ただし、食料品、セール品、その他除外品がございます)。なお、割引券1枚につき50,000円(税別)までのお買い物にご利用いただけます。

(注2) 1回のお買上合計金額1,000円(税込)以上につき、1,000円ごとに各1枚(50円)をご利用いただけます(ただし、商品券、タバコ、その他除外品がございます)。

(注3) 電車・東急バス全線きっぷは、1枚につき、東急線または東急バス片道1乗車に限りご利用いただけます(深夜バスにご乗車の際には割増運賃をお支払いください)。

※東急バスについては、以下の路線はご利用いただけません。①深夜急行バス(ミッドナイトアロー) ②通勤高速バス(TOKYU E-Liner)(虹が丘営業所→渋谷駅) ③羽田空港直行バス ④成田空港直行バス ⑤溝の口駅～新横浜駅間直行バス ⑥渋谷区コミュニティバス(ハチ公バス) ⑦大田区コミュニティバス(たまちゃんバス) ⑧たまプラーザ駅～東京ディズニーリゾート間直行バス ⑨(株)東急トランセ代官山線 ⑩(株)東急トランセ高速乗合バス(2015年5月現在)

継続保有の条件について

当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日)に継続して記載された株主さまに対し、その7回の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行いたします。

- 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。
- 株式交換等により当社株主となった場合は、その直後の基準日から起算いたします。株式交換等以前の時期との通算はいたしません。
- 株主名簿への記載が同一の方であり、何らかの事情により株主番号が変更になっている場合には、お申し出いただき、かつ当社において、その確認がとれる場合に限り、お申し出いただいた日の直前の基準日より同一の株主番号であったものとして取り扱います。
- その他の事項は、当社の定める基準によります。

優待送付時期の変更について

	146期期末		147期中間	147期期末
	ご優待券	優待乗車証	ご優待券・優待乗車証	
発行基準日	3月31日		9月30日	3月31日
発送時期	6月上旬	5月中旬	11月中旬	5月中旬
有効期限	12月31日まで	11月30日まで	翌年5月31日まで	11月30日まで

NEW 次回送付分より株主ご優待券も株主優待乗車証とあわせてのご発送となります。

会社概要

商号 東京急行電鉄株式会社
(英文名) (TOKYU CORPORATION)
設立年月日 大正11年(1922年)9月2日
本店所在地 東京都渋谷区南平台町5番6号
事業内容 鉄軌道事業・不動産事業

役員一覧 (2015年6月26日現在)

代表取締役社長	社長執行役員	野本 弘文
代表取締役	副社長執行役員	今村 俊夫
取締役	専務執行役員	巴 政雄
取締役	常務執行役員	渡邊 功
取締役	常務執行役員	星野 俊幸
取締役	常務執行役員	高橋 和夫
取締役	相談役	越村 敏昭
取締役	調査役	高橋 遠
取締役	調査役	桑原 常泰
取締役	執行役員	城石 文明
取締役	執行役員	木原 恒雄
取締役	執行役員	濱名 節
取締役	執行役員	市来 利之
取締役	執行役員	藤原 裕久
取締役		根津 嘉澄
取締役		小長 啓一
取締役		金指 潔
取締役		蟹瀬 令子
常勤監査役		長田忠千代
常勤監査役		吉田 創
監査役		岡本 囀衛
監査役		斎藤 勝利
監査役		石原 邦夫

株式の状況

■ 資本金 …………… 121,724,981,774 円
■ 発行可能株式総数 …………… 18 億株
■ 発行済株式総数 …………… 1,249,739,752 株
■ 株主数 …………… 84,391 名

大株主(上位10名)

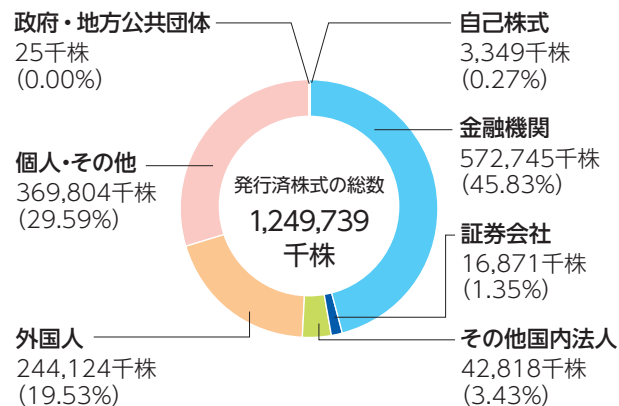
株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	77,475	6.20
三井住友信託銀行株式会社	59,573	4.77
日本生命保険相互会社	52,285	4.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	46,937	3.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,300	3.54
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,477	1.72
三菱UFJ信託銀行株式会社	21,188	1.70
株式会社みずほ銀行	20,236	1.62
太陽生命保険株式会社	17,133	1.37
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	15,009	1.20

※発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合を表示しております。

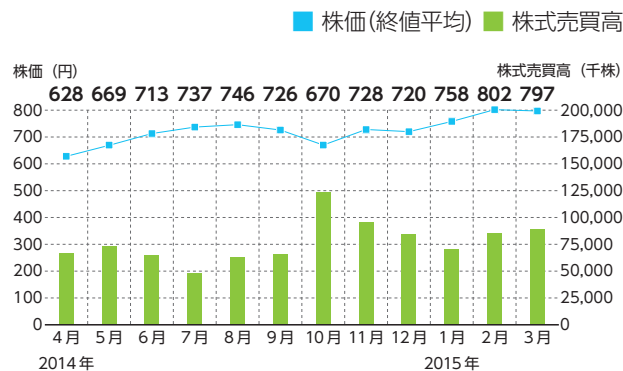
株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
 期末配当金支払基準日 3月31日
 中間配当金支払基準日 9月30日
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

所有者別株式分布



株価と株式売買高の推移



電話 0120-782-031

(フリーダイヤル・平日9:00~17:00)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っています。

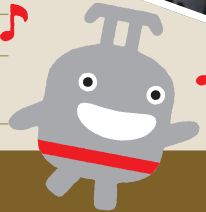
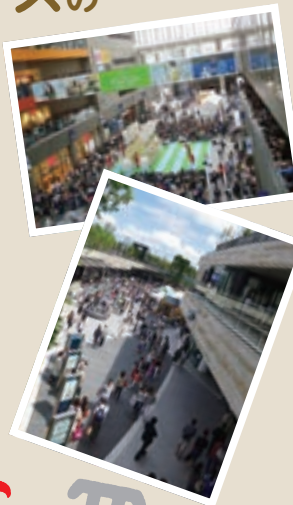


株主さま特別イベントのご案内

抽選で45名の株主さまを二子玉川ライズの施設見学ツアーにご招待！

当社では、株主のみなさまに当社の“事業”、“経営”をより深くお伝えするため、株主さま特別イベントを開催いたします。

本年開業した「二子玉川ライズ・ショッピングセンター・テラスマーケット」を含む二子玉川ライズの施設見学ツアーにご招待いたします。7月17日(金)に開業を予定しております「二子玉川エクセルホテル東急」を含め、各施設をご紹介します(ランチ付)。ぜひご応募ください。



開催概要

開催日時	2015年9月6日(日) 11:00~13:00
募集人員	45名(株主さまご本人1名)または「株主さまご本人1名+同伴者1名」)
応募締切	2015年7月24日(金)の消印有効
当選者へのご案内	当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。(8月上旬にお知らせいたします。)

イベント参加申し込み方法

官製はがき以下の事項をすべてご記入のうえご応募ください。

1. 株主さま氏名、性別、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
2. 同伴者の氏名、性別、年齢、株主さまとのご関係

送付先は以下のとおりです。

〒150-8511

東京都渋谷区南平台町5番6号 東京急行電鉄株式会社
総務部 文書株式課 株主さま特別イベント事務局
お問い合わせ先 電話03-3477-6228

ご注意

- ・お申し込みは、お一人さまにつき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・いずれのコースも現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。
- ・見学ツアーの内容は変更になる場合がございます。

お問い合わせ 東京急行電鉄株式会社 社長室 総務部
〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
TEL (03) 3477-6228 (月~金 9:30~12:30/13:30~17:00)

今後のIRスケジュール

(2015年6月時点の予定です。)



当社の決算情報をはじめ、株主優待の発送日や株式事務のご案内などは、当社IRサイトでも詳しくご案内しております。
<http://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>

東急 IR

検索

東急グループ お客さまご案内窓口 東急お客さまセンター

営業時間 月~金 8:00~19:00 土日祝 9:30~17:30
※年末年始などを除きます。
電話番号 03-3477-0109



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

2015年6月